

図書館だより

No. 11

- 図書館と電子化 上智大学図書館長 田宮 徹
- Sophia-R(上智大学学術情報リポジトリ)
- Sophia-R リポジトリ学外公開1周年記念
- データベースを使ってみよう!

- 図書選定委員お薦めの本 文学部新聞学科図書選定委員
文学部教授 渡辺 久哲
- 図書館講習会を開催しました
- 図書館掲示板 リニューアルしました!
- 豆知識 番町の名前の由来

図書館と電子化

上智大学図書館長
田宮 徹



私が大学に入学した、1968年
当時は、図書館といえば大学にお
ける研究・学習の拠点となる存在であった。団塊の世代と
呼ばれている、第二次世界大戦後の第一次ベビーブームの
真ただ中の昭和23年(1948年)生まれのため、私が上智
大学を受験した時は、入学試験の試験会場が教室だけでは
足りず、旧図書館の閲覧室の閲覧机を使って受験した。
この時が私にとっての上智大学図書館デビューということ
になる。この図書館があった場所には、現在2号館が建っ
ている。学部時代は理工図書室が4号館の1階にあり、実験
レポートの作成などは、もっぱら理工図書室を利用してい
たので、本館の図書館に足を踏み入れたのは、受験の時だ
けということになる。その後、現在の図書館が1983年12
月3日に竣工したことにより、理工の図書室は本館に統合さ
れ現在に至っている。理科系の学生、教員にとっての、か
つての図書館は、専門分野の雑誌に掲載された論文を検索
し、その論文を読む所であったわけだが、現在は、自分の
オフィスから(家庭からも)ネット経由で論文を検索し、必
要な論文をダウンロードすることが可能になっている。従っ
て、図書館に通わなくても、必要な情報を得ることが出来
るようになり、図書館に調べ物をしに行くということはほと
んどなくなった。私自身も、今年の4月に図書館長に就任
するまでは、図書館に行くのは会議の時だけとなっていた。

私の学部学生時代と現在の環境とを比べると、世の中が
劇的に進歩していることが解る。例えば、現在の様なコピー
機は存在したが、1枚当たりの単価が高く、とても学生が
気楽にコピーできるような状況ではなかった。そのため、
科学雑誌を読むときは、本当に必要なもの以外は、必要な
部分は写し取るというのが普通であった。しかし、現在の

様に、情報が氾濫しているわけではなかったもので、それな
りの専門誌をサーベイし、目的に合った論文を探し当てれば、
その論文に載っている文献を子供、孫と探していけば、
芋ずる式に探し当てることが出来た。計算に関しても同様
で、今では数百円で買える電卓も無く、計算には計算尺を
使用していた。シャープが卓上の計算機を作ったのは大学
院生のときである。フォートラン、コボル等のコンピュータ
言語を使用したプログラムをパンチカードにより大型のコン
ピュータ(メインフレーム)に読み込ませ、理科学計算をして
いたのもこの時代である。上智大学においても、現在の理
工学部長室のところに、当時は電子計算機室があり、ここ
に理科学計算用の大型汎用コンピュータが置かれていた。

現在のパソコンの原型とされる「マッキントッシュ」を
1984年に世に送り出した、米アップル社のCEOスティーブ・
ジョブズが、今秋に始める新サービス「iCloud」の発表会
(2011年6月6日)において、これまでパソコンで行なっ
てきたことのほとんどはスマートフォンに置き換わる「ポスト
PC時代」がくる、と宣言したとの記事が2011年7月13日の
日本経済新聞の朝刊に載っていた。パソコンに保存してい
たデータとソフト(音楽、映像、ゲーム等)の両方をクラウド
上に置き、ネット経由でそれらを利用することで、今まで
の様にパソコンを使用する必要がなくなるというものだ。
事実、スマートフォンに使われているCPUは10年前の大型
汎用コンピュータの3倍程度の能力を持っているそうであ
る。私の学生時代には、まだ存在しなかったパソコンが、
もうすぐ必要でなくなる時代が到来するらしい。

図書館においても、専門誌だけでなく、小説、漫画に至
るまで電子化の波が、押し寄せてきている。電子データを
どのように図書館利用者に提示していくのか、世の中の進
歩を見極めて、対応していく必要があるであろう。また、
電子版のみの専門誌も多数存在する中で、多くのデータ
ベースの中から、自分に必要でかつ信頼できるデータをい
かに選び出すかが今後ますます要求されるであろう。

カバンの中にiPhoneやiPadの様な携帯端末だけを入れ
て、大学に出勤し、出勤途中の電車の中では携帯端末で読
書をし、オフィスでは同じ携帯端末を使って仕事をする時
代がすぐそこに来ているようである。

Sophia-R(上智大学学術情報リポジトリ)

Sophia-R(上智大学学術情報リポジトリ)は、本学の学術研究成果及び教育成果を収集・蓄積・保存し、広く公開することを目的としたシステムです。

2011年7月現在、上智大学発行の雑誌(紀要)やその他の学術雑誌に掲載されている論文約5400件の全文が電子化され自由に読むことができます。また、このシステムに入力されたデータは、Googleなどのサーチエンジンでも検索が可能です。

●Sophia-Rへのアクセス方法

図書館ホームページ「情報検索」→「情報検索(New)」→「●上智大学発信電子資料 ●Sophia-R」



Sophia-Rにあなたの論文を登録しましょう。

掲載対象となるもの

- ①研究報告(科研費成果報告書、COE・現代GP等報告書、学内共同研究報告書など)
- ②学術論文(学術雑誌・学会誌掲載論文)
- ③学位論文(博士論文・修士論文)
- ④本学紀要論文
- ⑤その他の研究教育成果

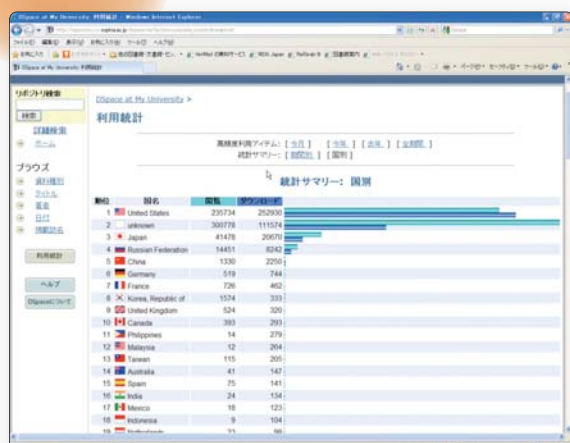
Sophia-Rに登録するメリット

- ①Google Scholarなどのサーチエンジンや、JAIRO(国立情報学研究所)、OAlster(ミシガン大学)といった電子論文検索サービスから検索が可能となりますので、論文へのアクセシビリティが向上します。
- ②無料で公開されるため、より多くの研究者の目に触れ、被引用率がアップします。
- ③本学の研究成果が一覧できるようになります。
- ④研究成果が恒久的に保存・管理されます。

Sophia-Rに登録する方法

「上智大学学術情報リポジトリ登録申請書」に必要事項を記入の上、論文のコピーか電子データを下記の担当宛にご提出下さい。詳細は、

図書館情報サービスチーム 学術情報リポジトリ担当 Tel:03-3238-3055へ



Sophia-R

リポジトリ学外公開1周年記念

Sophia-Rは、世界中の多くの人たちに利用されています。

2011年4月現在、総ダウンロード数400,000件、ダウンロード相手国120カ国に上ります。ここで、Sophia-Rダウンロードベスト3をご紹介しますとともに、第1位に輝いた先生に論文の内容と感想についてお伺いいたしました。

第1位

574ダウンロード

理工学部機能創造理工学科 准教授
宮武昌史先生

“Energy Saving Speed and Charge/discharge Control of a Railway Vehicle with On-board Energy Storage by Means of an Optimization Model”

—— IEEJ TRANSACTIONS ON ELECTRICAL AND ELECTRONIC ENGINEERING 2009,4(6)



第2位

439ダウンロード

文学部保健体育研究室 教授 金本めぐみ先生

思春期女性の身体意識と食行動に関する研究 —— 「上智大学体育」2005年、38号

第3位

416ダウンロード

経済学部経営学科 教授 上妻義直先生

環境情報開示が企業行動や市場に及ぼす影響についての会計学的・経済学的分析

—— 「2008年度（平成20年度）上智大学学内共同研究成果報告書」

ダウンロード1位になった感想あるいは理由をお聞かせください。

沢山の方に論文を読んでもらえたと同時に、学術情報リポジトリの発展にわずかながら貢献できたことを大変喜ばしく思います。研究室のWebサイトからリポジトリにリンクを張っているのが、ダウンロード数が伸びた理由だと分析しています。

当該論文・研究についてわかりやすくご紹介ください。またその背景などお聞かせください。

これは2年前に学術雑誌に採録された論文ですが、震災後の電力不足で電車の運転本数が減らされている現状を先取りしたかのような内容です。電車に電気を貯める装置の一種を載せ、それを生かしながら電車をなるべく少ないエネルギーで走らせるにはどう運転すればよいか、その方法を数値計算により明らかにした論文です。走行条件に依存しますが、電気を貯めることで4%程度、運転の最適化で計10%以上の省エネの可能性を示せました。この方法を生かせば、電車の運転本数を減らさずに済み、車上に蓄えた電気のため停電時もしくは照明や空調が消えたりせずに済みます。震災後、鉄道業界でもこのようなニーズが急激に増えているように感じます。

授業で学生に伝えたいことなど、先生の学生へのメッセージをいただけますでしょうか？

この論文を書いた頃は、まさか電力不足で電車の運転に支障が出るなどとは思っていませんでしたが、この震災をきっかけに急に研究の注目度が上がりました。自分の勉強や仕事は、ある日突然意外な形で役に立つこともあります。あらゆることに貪欲に取り組む姿勢を常に持って欲しいと思います。

学生に本を推薦いただけませんか？

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社

≫ 学部(地下1階) 080 : C644 : v.624

科学技術系の文書(レポート・論文)の書き方について述べた本です。

もう30年前の本ですが、基本は今も同じです。是非一度目を通して欲しいと思います。



データベースを使ってみよう!

Proquest Periodical Archives Online

Proquest Periodical Archives Onlineでは、新聞、業界紙、学術誌、一般紙、レポートなどを検索することができます。収録しているデータベースは以下の表の通りです。

米国の主要な新聞 New York Times, Wall Street Journal, Washington Post の創刊号から現在までを検索することもできます。

収録しているデータベース名	概 要	主題分野
<i>New York Times Collection</i>	オリジナルイメールデータ: 1851-2006、 全文閲覧可能: 1980-現在	ニュース&新聞、歴史学
<i>Wall Street Journal</i>	オリジナルイメールデータ: 1889-1993、 全文閲覧可能: 1984-現在	ニュース&新聞、 ビジネス、歴史学
<i>Washington Post Collection</i>	オリジナルイメールデータ: 1877-1994、 全文閲覧可能: 1987-現在	ニュース&新聞、歴史学
<i>Worldwide Political Science Abstract</i>	政治学と国際関係学に加え、国際法や行政 政策、公共政策を含む周辺分野に関する国 際的な文献の抄録と索引を収録	社会科学、芸術
<i>Linguistics and Language Behavior Abstract (LLBA)</i>	言語学および言語科学の関連分野に関する 国際的な文献の抄録と索引を収録	ニュース&新聞、 社会科学、言語学

アクセス方法

図書館ホームページ

「情報検索」→「情報検索(New)」→「◆新聞記事を探す "Proquest米国新聞情報データベース"」

<http://www.sophia.ac.jp/jpn/research/lib/search/new#A4>





■主題別検索 「ニュース&新聞」



主題別検索「ニュース&新聞」を選択すると、Linguistics and Language Behavior Abstract, New York Times, Wall Street Journal, Washington Post を横断検索します。

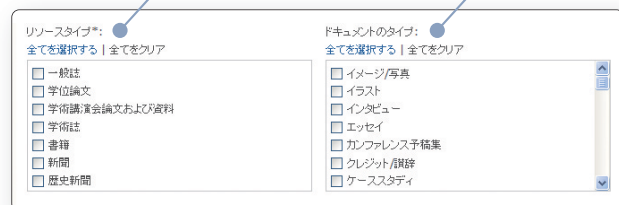
個別のデータベースを選択して検索することもできます。

■「ニュース&新聞」 詳細検索画面

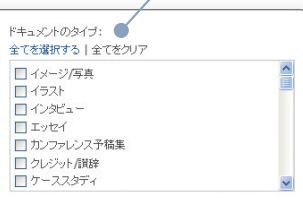


「ニュース&新聞」の詳細検索画面からは、リソースタイプ（一般紙、学術誌、新聞等）を選択したり、ドキュメントのタイプ（イメージ/写真、インタビュー、イラスト等）を選択することができます。データベースの選択もできます。

リソースタイプの選択



ドキュメントタイプの選択



データベースの選択



- Proquest Periodical Archives Online 検索方法の詳細については、下記URLのマニュアルをご確認下さい。

<http://www.kinokuniya.co.jp/O3f/denhan/UMI/topics/pqmanunew.pdf>

- 世界の主要な新聞の検索には、LexisNexis Academicも便利です。

図書館ホームページ 「情報検索」→「情報検索(New)」→「◆新聞記事を探す "LexisNexisAcademic"」



図書選定委員お薦めの本

文学部新聞学科図書選定委員 渡辺 久哲
／文学部教授

東日本大震災と津波の大惨事後、悲嘆に暮れつつもなお復旧現場や職場へとむかう人びとの姿が海外メディアで報じられ、日本人の冷静さ、礼儀正しさ、勤勉さ、思いやりが称賛されました。こうした報道に、誇らしい気持ちとともに何やら面映さや戸惑いを感じた方もあったのではないのでしょうか。



日本人の国民性はどの辺にあるのか。真にグローバルな人材となるためには、一人一人が何らかの「答え」を持たねばならぬ問いだと思います。「日本人論が好きなのが日本人の国民性」と揶揄されたりもしますが、昔から読み継がれてきた日本人論は多々あります。ルース・ベネディクトの「菊と刀」、中根千枝の「タテ社会の人間関係」、イザヤ・ベンダサン「日本人とユダヤ人」、土居健郎の「『甘え』の構造」、李御寧(イー・オ・リョン)の「『縮み』志向の日本人」等。

30年ほど前私が社会心理学専攻の学生だった頃には皆必読書でしたから、昨今の学生に書名を示して「うーん、初耳です」といわれるのは淋しいものです。情報インフラが発達し、メール、ツイッターなどコミュニケーション・スタイルも大幅に変わった今、過去の日本人論の多くは的外れかもしれません。が、ベネディクト女史の「(日本人は)不遜であるとともに礼儀正しく…」などの節に触れると何か真実を射抜かれた気持ちになることもあります。学生諸君も折を見てこれらの書物に触れてみてはいかがでしょうか。

『菊と刀』 (ルース・ベネディクト著)

≫ 図書館所蔵
学部図書(地下1階)
請求番号 080:Ko144:v.17 他

『タテ社会の人間関係』 (中根千枝著)

≫ 図書館所蔵
学部図書(地下1階)
請求記号 080:Ko196:v.105

『日本人とユダヤ人』 (イザヤ・ベンダサン著)

≫ 図書館所蔵
学部図書(地下1階)
請求番号 081.6:Y317:v.13 他

『「甘え」の構造』 (土居健郎著)

≫ 図書館所蔵
学部図書(地下1階)
請求記号 146.1:D835:2007 他

『「縮み」志向の日本人』 (李 御寧^{イー・オ・リョン}著)

≫ 図書館所蔵
学部図書(地下2階)
請求記号 361.5:I113:1984 他



図書館講習会を開催しました



図書館では講習会を多数開催しています。

年間を通じてラーニング・コモンズセミナーやデータベース講習会など様々な講習会を企画し、

図書館ホームページ及び掲示等で皆様にお知らせしています。

秋学期も講習会を予定していますので、是非興味のある講習会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

ここでは、春学期中に実施された講習会をご紹介します。

ラーニング・コモンズセミナー

ラーニング・コモンズセミナーはカウンセリングセンターの協力をいただき、春学期は以下のセミナーを実施しました。

◆「心理テスト(TEG:東大式エゴグラム)を用いた自己理解」

(5月11日、19日、27日開催、計38名参加) 講師: カウンセリングセンター カウンセラー

TEG: 東大式エゴグラムについての概念について説明があった後、実際に心理テストを行いました。

「テスト結果をみるときに使ったテキストには、自分の性格をいろいろな言葉で解説してあったので自己理解が深まったと思います」、「自分は変えられる、ということを知り、勇気が出てきました」などの感想があり、参加者の皆さんは自己理解を深めることができましたようです。



◆「ストレス対処法」..... (6月7日、16日開催、計20名参加) 講師: カウンセリングセンター カウンセラー

実際に体を動かしながら緊張をほぐしたり、ストレスの自己診断などを行いました。参加者からは、「筋肉を動かしてストレスを解消できるというのが意外でした」、「自分がストレスを受けたとき、どの症状が現れやすいか分かって役立ちました」などの感想が寄せられました。

◆「レポートの書き方入門」.....

(6月23日開催、40名参加) 講師: 総合人間科学部心理学科 久田 満 教授

教員の視点から、レポート作成の秘訣について教えていただきました。「教員がどのように学生のレポートを見て、評価しているのか分かり役立ちました」、「このセミナーを通してネットに頼るだけではなく、本とも向き合うことが重要だと強く感じました」など多数の好評の声をいただきました。



定期講習会

◆「RefWorks 講習会」..... (6月15日開催、57名参加) 講師: 株式会社サンメディア

文献管理ツール“RefWorks (レフワークス)”の講習会を行いました。RefWorksを使うことで、OPAC、データベース検索結果などから文献リストを作成したり、参考文献リストの作成することもできるなど、研究活動に有効となる使い方を学ぶことができました。

◆「SciVerge ScienceDirect 講習会」..... (6月22日開催、20名参加) 講師: エルゼビア・ジャパン株式会社

SciVerge ScienceDirectは世界最大のフルテキストデータベースサービスです。専任講師から様々な検索方法、パーソナル機能の使い方など、今まであまり知られていなかった機能を教えていただきました。

◆「SciFinder Web 講習会」..... (6月20日、22日開催、43名参加) 講師: 化学情報協会

物質生命理工学科の学生を中心として43名の参加がありました。専任講師による個別の質問にも応じながらの実習形式の講習会で、参加者は理解を深めることができました。



リニューアルしました！

学生ラウンジ



学生ラウンジは今年4月に勉学の合間のリフレッシュ、情報交換の場として明るく利用しやすいスペースに生まれ変わりました。

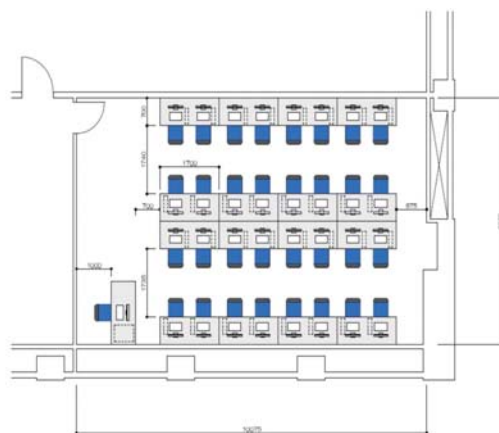
入って左側の書架には就職関係の図書や手軽に読める雑誌、講習会案内パンフレットなどを置いています。また、SUP(上智大学出版)の図書も展示してありますので手に取ってご覧ください。

* 図書館内は飲食禁止ですが、この部屋に限りペットボトルの持込が可能です。

情報検索室

図書館演習室

図書館2階にある情報検索室が10月から総合メディアセンター管轄の『図書館演習室』に変更されました。隣室のコンピュータールームと同様、授業時以外は自由に利用することができます。



豆知識

番町の名前の由来

江戸城に入った徳川家康は、城の守りを固めるため、この一帯に「大番組(おおばんぐみ)」と呼ばれる旗本(はたもと)たちを住ませた。ここから「番町(ばんちょう)」という地名が生まれた。

(千代田区 町名由来板ガイドより引用)

寛永3(1850)年—寛永(1852)5年
「江戸切絵図」より



上智大学図書館だより No. 11

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1
TEL : 03-3238-3510
FAX : 03-3238-3139
発行日 2011年10月1日
印刷 三鈴印刷株式会社
TEL : 03-5276-0811